



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月4日

上場会社名 アイカ工業株式会社

上場取引所 東・名

コード番号 4206 URL <https://www.aica.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員（氏名） 海老原 健治

問合せ先責任者（役職名） 財務統括部長（氏名） 森 要輔 TEL 052-533-3135

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	71,379	19.4	9,160	44.9	9,674	34.8	4,727	5.7
2026年3月期第1四半期	59,765	5.1	6,324	4.4	7,175	6.0	4,471	8.1

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 8,749百万円（—％） 2026年3月期第1四半期 127百万円（△98.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	74.71	70.99
2026年3月期第1四半期	71.52	66.02

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	344,379	221,263	56.2
2026年3月期	326,435	207,298	58.4

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 193,616百万円 2026年3月期 190,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	66.00	—	72.00	138.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		72.00	—	72.00	144.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	145,000	19.5	17,500	31.1	17,700	20.6	9,700	2.9	153.30
通期	290,000	15.2	34,800	19.4	35,300	17.1	19,500	5.2	308.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) スタイルム・インダストリー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	67,590,664株	2026年3月期	67,590,664株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	4,314,860株	2026年3月期	4,315,004株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	63,275,671株	2026年3月期1Q	62,518,746株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託 (J-ESOP) が保有する当社株式 (2027年3月期 1Q 45,800株、2026年3月期46,000株) が含まれております。また、株式給付信託 (J-ESOP) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2027年3月期 1Q 45,933株、2026年3月期 1Q 46,833株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善を背景に、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調で推移しました。世界経済については、中国など一部地域では景気の停滞が続いたものの、A I 関連投資などを背景に米国を中心に底堅く推移し、全体として緩やかな成長を維持しました。一方、中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学的リスクの高まりや為替・金利動向の変動などにより、国内外の景気は依然として先行き不透明な状況が続きました。

国内建設市場においては、住宅市場では、住宅価格の上昇や住宅ローン金利の上昇などが下押し要因となったものの、改正建築基準法の施行に伴う駆け込み需要の反動が一巡したことなどから、新設住宅着工戸数には持ち直しの動きがみられました。一方、非住宅市場では、建設コストの上昇や人手不足を背景に、新設着工床面積は前年を下回る水準で推移しました。

このような経営環境の下、中東情勢の緊迫化に伴い、原材料調達環境や価格動向の不透明感が高まるなか、当社グループはグローバルネットワークを活用した安定供給の維持に努めるとともに、高付加価値商品の拡販や海外事業の成長に向けた施策を推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高71,379百万円（前年同四半期比19.4%増）、営業利益9,160百万円（同44.9%増）、経常利益9,674百万円（同34.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,727百万円（同5.7%増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

（化成品セグメント）

接着剤系商品は、国内においては、中東情勢の緊迫化に伴い原材料調達環境の不透明感が高まるなか、安定供給の維持に努めたこともあり、木工・家具用接着剤や施工用接着剤などが好調に推移し、売上は前年を上回りました。海外においては、中国で需要回復の兆しがみられたほか、前期に稼働を開始した福建工場の操業が本格化したことも寄与しました。さらに、タイ、インドネシア、ニュージーランドなどにおいても堅調に推移し、売上は前年を大幅に上回りました。

建設樹脂系商品は、塗り床材「ジョリエース」が半導体工場、データセンター向けを中心に採用が拡大し、販売が好調に推移しました。また、意匠性や機能性に対する市場ニーズの高まりを背景に、塗り壁材「ジョリパット」も好調に推移し、売上は前年を上回りました。

機能材料系商品は、国内においては、化粧品用途の有機微粒子が回復するなど高付加価値商品が堅調に推移し、売上は前年を上回りました。海外においては、テキスタイル用ウレタン樹脂は低調に推移しましたが、スポーツシューズ用ウレタン樹脂の販売が回復したことに加え、UV硬化型樹脂などが堅調に推移し、売上は前年を上回りました。

このような結果、売上高は37,254百万円（前年同四半期比12.8%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は3,503百万円（前年同四半期比66.8%増）となりました。

（建装建材セグメント）

メラミン化粧板は、国内においては、新用途展開として注力している床材「メラミンタイル」は伸長しましたが、主力用途向けでは前年の価格改定に伴う駆け込み需要の反動減により、売上は前年をわずかに下回りました。海外では、中国において販売が持ち直したほか、インドにおいて既存事業が伸長したことに加え、当第1四半期連結累計期間より連結業績に組み入れたスタイラム・インダストリー社が寄与したことから、売上は前年を上回りました。

ボード・フィルム類は、汎用的なポリエステル化粧合板が堅調に推移したほか、非住宅市場における内装材として需要が拡大している粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」が好調に推移し、売上は前年を上回りました。

メラミン不燃化粧板「セラール」は、オフィス、店舗、ホテル、学校など非住宅市場の需要を獲得したほか、住宅市場においても底堅く推移し、売上は前年を上回りました。なかでも、特殊エンボスメラミン不燃化粧板「セレント」は、上質な壁面材としての認知度が高まったことに伴い、採用が拡大しました。また、抗ウイルスメラミン不燃化粧板「セラールウイルテクトPlus」は、抗ウイルスと消臭の機能が評価され、病院や店舗などを中心とした非住宅市場で販売が伸長しました。

不燃建材は、多機能建材「モイス」などが低調に推移したものの、押出成形セメント板「メース」事業において高付加価値商品の販売が増加したことから、売上は前年を上回りました。

住器建材は、造作風洗面化粧台「スマートサニタリー」が、設計自由度の高さと意匠性により市場で高く評価され、販売が好調に推移したほか、ポストフォームカウンターも好調に推移し、売上は前年を上回りました。

このような結果、売上高は34,124百万円（前年同四半期比27.7%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は6,952百万円（前年同四半期比30.0%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は195,791百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,497百万円増加いたしました。これは主に流動資産その他が6,611百万円減少したことに対し、売掛金が6,455百万円、原材料及び貯蔵品が4,362百万円増加したことによるものであります。固定資産は148,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,446百万円増加いたしました。これは主にのれんが18,517百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、344,379百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,944百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は93,037百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,266百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が2,165百万円、未払法人税等が1,831百万円減少したことに対し、支払手形及び買掛金が5,663百万円増加したことによるものであります。固定負債は30,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,712百万円増加いたしました。これは主に固定負債その他が2,039百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、123,116百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,979百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は221,263百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,964百万円増加いたしました。これは主に非支配株主持分が10,828百万円、利益剰余金が168百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益4,727百万円及び剰余金の配当4,559百万円）、為替換算調整勘定が1,585百万円、その他有価証券評価差額金が1,493百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は56.2%（前連結会計年度末は58.4%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして、当第1四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、2026年5月1日に公表いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました2027年3月期第2四半期（累計）の業績予想を新たに公表するとともに、2027年3月期通期業績予想を下記の通り修正いたしました。詳細は本日公表いたしました「2027年3月期第2四半期（累計）業績予想の公表及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※下記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2027年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の公表（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2027年3月期第2四半期（累計）予想	145,000	17,500	17,700	9,700	153.30
（参考） 2026年3月期第2四半期（累計）実績	121,351	13,348	14,671	9,424	151.29

2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	280,000	31,000	32,000	18,600	293.95
今回発表予想（B）	290,000	34,800	35,300	19,500	308.17
増減額（B－A）	10,000	3,800	3,300	900	14.22
増減率（%）	3.6	12.3	10.3	4.8	4.8
（参考） 2026年3月期通期 実績	251,764	29,143	30,136	18,533	296.48

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,207	54,728
受取手形	22,864	22,794
売掛金	50,675	57,131
商品及び製品	18,059	20,763
仕掛品	2,067	2,167
原材料及び貯蔵品	15,314	19,677
その他	26,131	19,519
貸倒引当金	△1,028	△991
流動資産合計	193,293	195,791
固定資産		
有形固定資産	75,451	86,910
無形固定資産		
のれん	1,658	20,175
その他	7,369	7,204
無形固定資産合計	9,027	27,380
投資その他の資産		
その他	48,664	34,298
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	48,662	34,297
固定資産合計	133,141	148,588
資産合計	326,435	344,379
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,257	33,920
電子記録債務	3,094	3,420
短期借入金	35,181	33,016
未払法人税等	5,073	3,242
賞与引当金	2,769	3,405
有償支給取引に係る負債	2,661	2,845
その他	13,732	13,184
流動負債合計	90,770	93,037
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	11,098	11,093
長期借入金	1,302	765
退職給付に係る負債	2,061	2,275
その他	13,903	15,943
固定負債合計	28,365	30,078
負債合計	119,136	123,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	8,811	8,811
利益剰余金	147,189	147,357
自己株式	△10,782	△10,782
株主資本合計	155,110	155,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,420	12,913
繰延ヘッジ損益	△6	△31
為替換算調整勘定	22,920	24,505
退職給付に係る調整累計額	1,035	950
その他の包括利益累計額合計	35,369	38,337
新株予約権	19	19
非支配株主持分	16,799	27,627
純資産合計	207,298	221,263
負債純資産合計	326,435	344,379

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	59,765	71,379
売上原価	43,350	50,705
売上総利益	16,414	20,673
販売費及び一般管理費	10,090	11,512
営業利益	6,324	9,160
営業外収益		
受取利息	171	160
受取配当金	279	323
その他	629	335
営業外収益合計	1,080	819
営業外費用		
支払利息	69	156
その他	160	149
営業外費用合計	229	305
経常利益	7,175	9,674
特別損失		
段階取得に係る差損	—	906
特別損失合計	—	906
税金等調整前四半期純利益	7,175	8,768
法人税、住民税及び事業税	2,158	2,946
法人税等調整額	148	224
法人税等合計	2,307	3,171
四半期純利益	4,867	5,597
非支配株主に帰属する四半期純利益	396	869
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,471	4,727

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	4,867	5,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	857	1,493
繰延ヘッジ損益	△2	△25
為替換算調整勘定	△5,563	1,756
退職給付に係る調整額	33	△85
持分法適用会社に対する持分相当額	△65	12
その他の包括利益合計	△4,740	3,151
四半期包括利益	127	8,749
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	682	7,695
非支配株主に係る四半期包括利益	△555	1,054

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,036	26,728	59,765	—	59,765
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,059	0	1,059	△1,059	—
計	34,096	26,728	60,825	△1,059	59,765
セグメント利益	2,100	5,347	7,447	△1,123	6,324

（注） 1 セグメント利益の調整額△1,123百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,135百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,254	34,124	71,379	—	71,379
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,125	—	1,125	△1,125	—
計	38,380	34,124	72,504	△1,125	71,379
セグメント利益	3,503	6,952	10,456	△1,295	9,160

（注） 1 セグメント利益の調整額△1,295百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,294百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	2,000百万円	2,184百万円
のれんの償却額	152百万円	478百万円